

報道関係者各位

2010年10月29日  
BSI グループジャパン株式会社

**茶業界に携わる共同体として国内初  
鹿児島県「枕崎市茶業共同体」29社が  
ISO9001(品質マネジメントシステム)を同時認証取得**  
—安心・安全なお茶を約束するために、行政・農業団体・農家の三位一体での取組み—

BSI グループジャパン株式会社(東京都港区 代表取締役社長 竹尾 直章、以下 BSI ジャパン)は、ISO9001(品質マネジメントシステム)を、鹿児島県の茶業界に携わる 29 社が集結した「枕崎市茶業共同体」に認証し、本日、認証授与式を実施しました。

鹿児島県は、静岡県に次ぐお茶の第 2 位の生産県で、全国で約 25%のシェアを占めています。また平坦で大区画な茶園が多いことから機械化が進んでおり、さらに、温暖な気候を活かし、早生から晩生品種まで多様な品種を栽培しています。多様な品種を栽培することにより一・二番茶だけでなく、三・四番茶、秋冬番茶まで幅広く生産していますが、これには、栽培から出荷までのしっかりとした品質管理と、その為のプロセスの確立が重要となってきます。

この品質管理を ISO9001 の認証取得により実現し、安心で安全なお茶であることを消費者に認めてもらうために、枕崎市の茶業協議会 43 社中、29 社が共同体を作り、ISO9001(品質マネジメントシステム)の構築に取り組みました。さらに今回の ISO9001 の認証取得では、鹿児島県、枕崎市、JA の 3 団体がバックアップをすることで、行政、農業団体、農家の三位一体で、ISO9001 の構築と認証を成功させました。

構築にあたっては、「枕崎市茶業共同体」の会長や管理責任者が各工場に何度も入り込み、指示や会話を重ねて全体の統一を図るなど、29 社同時取得ならではの大変な労力を経たうえでの実現となりました。

地域農産物の発展のため、同じ事業目的・目標を持った組織が集まって共同体を作り、ISO9001 の構築と認証を成功させたというこの事例は、農地利用率の減少、生産者の高齢化と後継者不足等の様々な問題を抱えている日本の農業において、将来の日本の農業のあり方の一つを表すものとなります。

◆ISO9001(品質マネジメントシステム)について

ISO9001 は、製造やサービス提供といった業務プロセスの維持や改善によって、製品やサービスの質の向上を図るための品質マネジメントシステムの国際規格です。

BSI (British Standards Institution) について

英国規格協会は、1901 年に英国貿易産業省の支援を受けて設立された世界で最も古い歴史を持つ国家規格協会。1929 年に英国王室の認可(Royal Charter)を受け、1942 年には BS 規格 (British Standard 規格・英国国家規格) を策定・発行する英国唯一の機関として英国政府より認可される。現在世界 100 カ国以上で ISO を中心としたマネジメントシステムの認証・各種検証およびトレーニングのサービスを提供し、ISO の認証件数は 6 万件を超える実績を誇る。ISO9001(品質マネジメントシステム)、ISO14001(環境マネジメントシステム)、ISO27001 (情報セキュリティマネジメントシステム)を始め多くの BS 規格が ISO 規格の原案として採用されており、その実績は世界随一を誇る。BSI グループジャパンは BSI の日本法人である。

URL : <http://www.bsigroup.jp/>

■ お客様からのお問い合わせ先

BSI グループジャパン株式会社(英国規格協会) マーケティング本部  
東京都港区北青山 2-12-28 青山ビル 5 階

TEL: 03-6890-1174

FAX: 03-6890-1181

Email: [Japan.Marketing@bsigroup.com](mailto:Japan.Marketing@bsigroup.com)

■ 報道機関からのお問い合わせ先:

BSI グループジャパン PR 事務局

担当: 宇野、川野

TEL: 03-3584-7370

FAX: 03-3584-1310

Email: [info@ppoint.co.jp](mailto:info@ppoint.co.jp)